



# 議会だより



**No.76**

令和7年2月25日発行

**12月定例会**

12月定例会第1回臨時会議

- 12月定例会(通常会議)..... 2
- 12月定例会(第1回臨時会議) ... 3
- 一般質問(9人が町政を問う) ... 4

(表紙紹介は18ページ)



# 12月定例会

## 案議 議審

令和6年12月定例会が11日に開会し、町長の行政報告、議案の提案理由説明などが行われました。

16日と17日は一般質問(4件から関連記事)が行われ、9人の議員が町の課題を執行部に問いました。19日には議案の審議が行われ、町長提出の議案10件を可決、1件を同意、1件を適任とし、散会しました。

12月定例会の会期は、12月11日から2月28日までの80日間です。

### 選挙運動の公営に関する条例の一部改正

「中土佐町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例について」は、公職選挙法施行令の一部が改正されたことによるもの。公営に要する経費に係る限度額が引き上げられた。質疑、討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

#### 選挙公営

選挙公営制度は、お金のかからない選挙のため、また、候補者間の選挙運動の機会均等を図るため、一定の範囲で国や地方公共団体が立候補者の選挙運動費用の一部を公費で負担する制度です。

### 専決処分 (一般会計補正予算)

「専決処分の報告について(令和6年度中土佐町一般会計補正予算(第

6号)」は、地方自治法第180条第1項の規定によつて行うもの。令和6年10月に執行された衆議院議員総選挙および最高裁判所裁判官国民審査に対応する経費を予算化。このため、歳入歳出予算が9558万円増額となり歳入歳出予算の総額は79億3067万円となる。

#### 専決処分

議会が議決すべき事項を、町長が議会に代わつて意思決定すること。地方自治法の規定に基づく緊急な場合の専決処分(法第179条)と、軽易な事項で、議会の議決によつて特に指定した議会の委任による専決処分(法第180条)がある。

### 一般会計補正予算

「令和6年度中土佐町一般会計補正予算(第7号)」について「は、4705万円を追加し、一般会計の歳入歳出予算の総額を79億7772万円とするもの。主な補正は、県が実施する急傾斜地崩壊防止対策事業の負担金、町道や町河川の維持管理委託料などの土木費1646万円、上ノ加江に建設するヘリポートの接続道路工事費の増額330万円など。

質疑では、1人の議員が増額の理由や内容などについて、執行部に説明を求めた。

討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

### 財産取得

「財産の取得について(中土佐町立美術館収蔵



黒潮本陣付近の高台で建設が進む新美術館(令和7年の秋ごろに開館予定)

庫備品)」は、現在、建設中の美術館の収蔵庫に設置するための収蔵棚を取得するもの。  
二社で指名競争入札を実施。一回目は不落、二回目は一社が辞退したため入札中止となった。一回目に最低価格を提示した(株)岡村文具と見積もり合わせを行い、3740万円

で随意契約する。質疑、討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

# 第1回臨時会議

## 議案審議

1月30日、令和6年12月定例会第1回臨時会議が行われました。町長提出の報告1件、一般会計補正予算など議案6件を可決し、散会しました。

### 専決処分 (久礼小学校備品)

「専決処分の報告について(久礼小学校(北舎・屋内運動場)備品)」については、選定した備品の廃盤に伴う代用備品への変更や教室に使用する備品が一部不要となったことなどにより、請負額を35万9700円減額するもの。このため、変更後の請負額は4430万300円となる。

### 町の一般職員の給与条例の改正

「中土佐町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」

### 一般会計補正予算

「令和6年度中土佐町一般会計補正予算(第8号)」について「は、1億5879万円を追加し、一般会計の歳入歳出予算

ついて」は、令和6年度の国の人事院勧告に準拠し、一般職の職員給与や期末・勤勉手当を増額するもの。合わせて次年度から制度変更となる扶養手当なども改正する。質疑では、1人の議員が改正する手当の内容など執行部に説明を求めた。討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

の総額を81億3651万円とするもの。主な補正は、職員給与の増額による人件費3906万円、物価高騰対策として低所得世帯に1世帯3万円を給付するなど国の臨時交付金事業費5022万円など。質疑では、2人の議員が追加補正の理由や内容など執行部に説明を求めた。討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

### ヘリポート整備 工事請負契約の 締結

「令和6年度上ノ加江地区ヘリポート整備工事請負契約の締結について」は、南海トラフ地震などに対応するためのヘリポート及び接続津波避難路を整備するため、(有)有澤建設工業と1億3310万円で契約するもの。

質疑、討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

### 議案審議の流れ

※議案：議会の議決を経るために、町長または議員もしくは委員会が議長に提出する案件のことです。

※審議：本会議における説明から討論、採決までのことです。

【開会】  
※議長が定例会や臨時会議または臨時会の開会を宣告します。

【議案上程】  
※議案(条例や予算など)を議題とします。

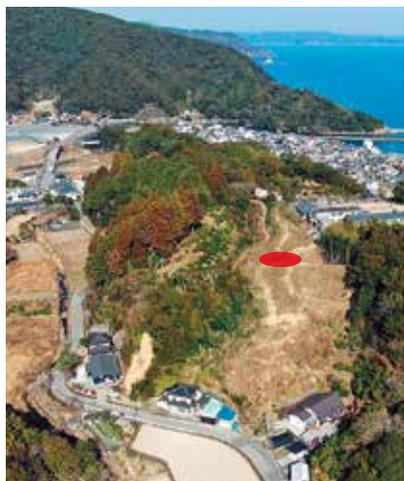
【説明】  
※町長から議案の提案理由説明を受けます。

【質疑】  
※議案について、不明な点を執行部に説明を求めます。

【討論】  
※議案に対して賛成か反対か、自分の意見を述べます。

【採決】  
※議会として議案の賛否を起立採決で決定します。

【閉会または散会】  
※議長が定例会や臨時会議または臨時会の閉会や散会を宣告します。



上ノ加江小学校に隣接する高台に整備されるヘリポート(着色した部分)

# 9人の議員が一般質問



**下元 道夫** ……P5

- シン・鯉乃國プロジェクトと漁業振興は
- 進む耕作放棄地、農業で生活できる施策の展開は



**山本 建生** ……P6

- 障害があってもこの町で暮らせる支援を
- SNSで同和問題に関係する発信が



**中野 大地** ……P7

- 地域おこし協力隊のさらなる呼び込みを
- ごみステーションのカラス対策用ネット購入補助を



**高橋 雄造** ……P8

- 防災備蓄の整備は
- 運動会でのボランティアに金銭的補助は



**下元 良之** ……P9

- 合併後の大野見の現状は
- マイナ保険証、医療機関への対応は



**金子 裕之** ……P10

- 消防跡地は売却前に安全対策を
- 空き家を宿泊施設に



**窪田 和教** ……P11

- 資格確認書の送付は
- 会計年度任用職員制度の総務省通知受けとめは



**岡 伊三男** ……P12

- 小規模校の運動場の管理は
- 矢井賀地区の南海トラフ地震対策は



**佐竹 敏彦** ……P13

- 高知県人口減少対策総合交付金の町の取り組みは
- 大谷選手を載せた教科書の扱いは

## 一般質問

## 町政を問う

12月16日と17日の2日間、一般質問が行われ、9人の議員が福祉、防災対策、産業など、町の諸問題を取り上げました。

※一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長などに対し疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

※掲載する「一般質問」は、議員の責任で質問・答弁を750字以内にまとめたものです。



各議員のページにあるQRコードで、その議員のインターネット中継をご覧ください。ご覧になれる場合は、データ通信料の契約が定額制（使い放題）でない場合、高額請求される場合がありますのでご注意ください。

# シン・鯉乃國プロジェクトと漁業振興は

## カツオの町として持続可能な取り組みを進める

問 シン・鯉乃國プロジェクトの工程は。

今橋まちづくり課長 9月

1日から専従の事務局長を採用し、商標登録の勉強会を実施した。都市部での販売促進サポート活動をしている。

問 現在、加工場でのハサブ（衛生管理基準）の取

得ができていない。売りに出していくための基本だが、いつ取得するのか。

山崎農林水産課長 認証の

取得に至っていない。民間の認証取得を検討している。

問 事務局長の業務と活動は。

今橋まちづくり課長 プロ

ジェクトの進行管理や関係者への説明と提案、行政、地域、民間の調整など。

活動実績は、町内事業者の現状把握とゴシカツオの実態調査、特許庁を迎えるの勉強会、都市部でのプロモーションを

行っている。

問 漁師が漁師として生きていける。このなりわいが無い限りのプロジェクトは頓挫する。担当課の考えは。

山崎農林水産課長 漁師が

いてこそその漁業だ。状況を見ながら必要な支援をしていく。

今橋まちづくり課長 カツオの町として持続的な発展ができるよう取り組みを進めていく。



下元道夫



下元議員の録画映像はこちらから



寒さ厳しい中、鯉など4tを水揚げ(令和7年1月6日、久礼漁協)



## 進む耕作放棄地、農業で生活できる施策の展開は

### 有機の水稲栽培など検討していきたい

山崎農林水産課長 小松島

市の有機水稲栽培農法を本町でも導入できるか検討していきたい。

生き生きと仕事ができる職場環境を

問 町職員が生き生きと仕事ができる職場環境づくりで心がけていますか。

竹崎副町長 普段から周りの

職員の様子に関心を持って、上司や同僚が積極的に声をかけることが必要だ。名前の呼び捨ては、第三者が聞いた場合不快に感じる場合もある。適切な呼び方を指導していく。

山崎農林水産課長 農地全

体は約760haで、耕地面積440ha、休耕地100ha、非農地・耕作放棄地220haとなっている。

問 有利作物の導入、生活できる農業をどう構築していくか。徳島県小松島市の多収穫・高食味の稲作農法など今後暮らしに取組むは。



ほ場整備された田んぼの周辺にも耕作放棄地が増えてきた

# 障害があってもこの町で暮らせる支援を

## 仕事や各種支援でサポートする

山本 建生



山本議員の録画映像は  
こちらから▶▶▶

問 障害がある方や家族は、生涯この町で暮らしている。障害者の働く場

あるストックヤードなどで人員が減って運営に支障が出る心配の声を聞くが。

辻本健康福祉課長 利用者

の減少が続けば事業が縮小されるが、利用者の生きがいでもあるので、社協や家族の意見を聞き最適な運用を目指していきたい。

問 仕事が終わった後に障害者が利用できる「つどい処」に来て時間を過ごすことが怠いになっていくが。

辻本健康福祉課長 地域活動支援センター「つどい処」は、1日平均18〜20人、年間延べ400人ほどが利用されている。

問 障害のある方たちへの役場のサポートは入っているか。

辻本健康福祉課長 障害の程度、種類によって違うが、医療費の扶助制度、各種手当、日常生活用具の支給制度がある。また、税の減免や居宅サービスなどを案内している。

問 障害の疑いがある子どもに保育士が検査を勧めた話を聞いた。保育や小学校で早期に見つけてサポートしていく体制が大事だが、取り組みはどうか。

岡村教育長 保育所ではワ

ンステップ事業を行っており、保育士が疑いがあると感じたら専門の先生に来ていただいて診断に進むかを判断している。早期発見は大事で、今後それぞれの特性のある子どもが自立できるようにしていきたい。



つどい処 (久礼)

## SNSで同和問題に関係する発信が

### 人権を傷つける発信は 慎むべき

問 SNSで同和問題に係るような発信がされた。中土佐町の人権問題にとって極めて不適切な行為であると思いませんか。

注意がある。他者の人権を傷つける恐れや誤解を招く投稿は厳に慎むべきだと考える。

岡村教育長 人権にかかわるSNSの発信は細心の

# 地域おこし協力隊のさらなる呼び込みを

## 令和7年度から年間4人の着任を目指す

**問**これまでの地域おこし協力隊の採用人数と現在の隊員数は。

**今橋まちづくり課長** 令和6年11月末時点での累計は19人で、現在活動している隊員は3人だ。

**問**任期を終えた隊員の定住率は。

を終えた16人のうち9人が定住し、定住率は56.3%だ。直近の5年では、10人中7人が町内に残り70%だ。

**問**国は2026年までに、隊員を1万人まで増やすと目標を定めている。今後、募集するにあたって、どのような戦略で取り組んでいくか。また、具体的な数値目標は。

**今橋まちづくり課長** 現在行っている、民間求人サイトを引き続き活用する。4月に開設予定として準備を進めている移住ポータルサイトなどにも案内しながら取り組んでいく。令和7年度から年間4人の着任を目指すしていく。

中野大地



中野議員の録画映像はこちらから

## ごみステーションのガラス対策用ネット購入補助を

### 支援は難しい



場所によっては、ガラスの被害があるごみ収集所

**問**ごみステーションのガラス対策用ネット購入費を補助してもらえないかという声があるが、支援の考えは。

**黒石町民環境課長** ネットの準備は地区ですらもらっている。ガラス対策用となると必要箇所も限定されるので、支援は難しい。

**問**高齢化に伴い、ごみステーションの場所についても変更の声を聞くが対応は。

**黒石町民環境課長** 収集場所の変更は可能だ。まずは、地域で十分に調整をさせていただきたい。障害や要介護などの一定の要件がある方については、家庭ごみ戸別収集事業も

行っている。

### 久礼保育所の遊び場対策を



雨などで真砂土が流れ遊び場の土砂がむき出しになってしまう(久礼保育所)

**問**久礼保育所の遊び場(築山)が、雨などで真砂土が流れ、土砂がむき出しになって危険だ。現在は修復されているが、今後、同じような現象が繰り返されないためにも

**多田教育次長** 保護者会や保育所職員などの声を聞きながら検討していく。

対策を。

### その他の質問

- ▼ 水稲用農業機械導入事業
- ▼ 移住定住対策

# 防災備蓄の整備は

高橋雄造



高橋議員の録画映像は  
こちらから▶▶▶



## 優先度の高い順に対応する



中土佐町に整備している災害対応移動電源車

**問** 全国の自治体に対して、防災装備品の導入費用を補助する国の方針が定められ、備蓄品の備えについても調査が進められることとなった。被災者の生活を支えるための体制と整備は。

**池田町長** 危機管理室を中心とした、若手職員の見を生かし、今後の備

蓄、有事に対する対策を行い、万が一に備え住民の安心安全の確保に努める。

**平田総務課長** 今後、県とは連絡を密にして、優先順位の高いところから効果的に活用できるように対応し、防災対策に取り組む。

**問** 運動会は、児童、生徒に対して貴重で教育上、重要なことであり、今後も継続が必要だがボランティア参加者に何か補助的なことはできないか。

**岡村教育長** 20代の若者を含め、9人の方が参加してくれた。PTAの役員会でOB、OGに支援要請の意見があり、卒業生がそれぞれの同級生に声掛けをし、賛同を得たものである。

**問** 大野見小・中学校の合同運動会に、町内外からOBがボランティアとして参加し、PTAや教職員とともに運営・進行を行った。参加人数とその経緯は。

**岡村教育長** 学校側からは、ボランティアと一緒に運動会は、今後も継続の希望がある。参加者は、現在実施している地域学校協働本部事業を活

用すれば新たな施策ではなく、金銭的な支援は可能であると考えられる。上ノ加江小学校も同様で、両方とも支援をしていきたい。

## 運動会でのボランティアに 金銭的補助は

### 限定的補助は可能だ



OBもボランティアで参加して行われた大野見小・中学校運動会（9月28日）



下元良之



下元議員の録画映像は  
◀◀◀ こちらから

**問** 大野見村と中土佐町が合併して19年になる。合併当時に思い描いていた大野見の将来像と現状との違いは。

# 振興は至らぬどころも多い

# 合併後の大野見の現状は



大野見久万秋 沈下橋

**問** 大野見の幹線道路の改良状況と達成度はどれくらいと考えるか。

**池田町長** 七子峠から大野見吉野への県道41号の改良は、現道を改良することに決定し、現在に至っている。窪川船戸線の改良工事は寺野工区など一部改良済み及び工事中の工区はあるが、大股地区や槇野々ー野老野間など、手つかずの区域も多い。

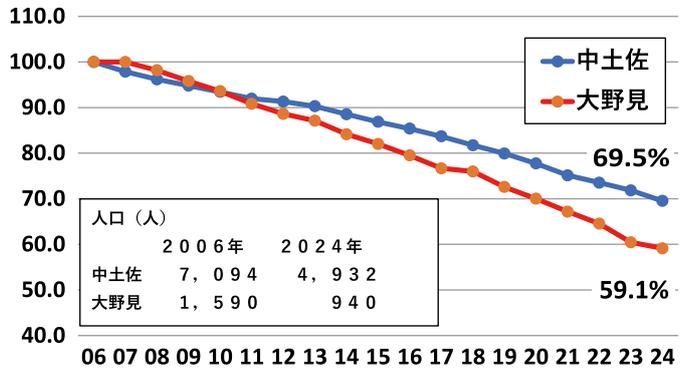
**問** 大野見と旧中土佐町の人口減少率を比べると、大野見の減少率が大きい。また、使った合併特別債のほとんどは役場周辺の高台移転事業に充てている。こういった状況のなかで、今後の大野見地区の振興対策は。

**池田町長** 大野見振興局を核に、地域の要望を伺い、議論を深めて振興策に努める。行政主導でも取り組むが、地域住民の熱意も重要だと思う。



大野見奈路地区

中土佐 大野見 人口減少率 (%) 2006年~2024年



合併時を100とした人口減少率推移グラフ

## マイナ保険証、医療機関への対応は

## 個別に対応していく

**問** 健康保険証がマイナ保険証に一本化されている。本町において、システム導入が困難で、診療の継続に支障がある医療機関はないか。

**黒石町民環境課長** マイナ保険証のシステム導入状況は、町内の医療機関13施設のうち10施設で導入済みで3施設が未導入だ。未導入の施設については、個別に検討し、対応していく。

**問** 導入していない医療機関には、課をまたいだ対応が必要だが。

**辻本健康福祉課長** 1年間の経過措置があるので、当面は現状のまま診療を行うことにしている。今後は、情報を収集しながら協議して、大野見の地域医療を守っていきたい。



# 消防跡地は売却前に安全対策を

## 安全対策を含めた取り組みをしていく



金子議員の録画映像は  
こちらから▶▶▶



**問** 消防跡地付近にはバス停や自転車置き場などの公共施設があるが、売却に伴う整備計画はあるか。

**平田総務課長** 周辺の整備計画は予定していない。

**問** 消防跡地付近は交通量も多く、横断歩道の白線が消えた状態だ。安全対策をしてから売却すべきでは。

**池田町長** 横断歩道は高知県警に相談しているが、いまだに実施されていない。現在、売却に向けて安全対策を含めてさまざまな取り組みをしていく。

**問** 安全対策や景観条例などを考慮した条件付きの入札か。

**池田町長** 安全対策などの前提条件を提示した上で、公益性を持った法人に売却したい。



時間帯によって混雑する旧消防跡地付近の交差点。  
安全対策が求められる（久礼駅前通り）

## 空き家を宿泊施設に

### 民間主導で活用可能

**問** 空き家所有者のニーズは。

**今橋まちづくり課長** 空き家所有者へのアンケートでは、賃貸や売却を希望する方は少ない。

**問** 中土佐町には宿泊施設が少ないが、空き家を宿泊施設に活用するための課題は。

**今橋まちづくり課長** 町が補助している空き家改修は、居住部分のみとなる。民間主導で活用することは可能だ。

**問** 空き家を活用して起業できる環境整備が必要だが。

**池田町長** 空き家が増加している現状を見ると、空

家の活用は経済の活性化と同時に人口減少を緩やかにするために必要だ。

**コンビニで住民票など交付ができない理由**

**問** 中土佐町では住民票や印鑑証明書のコンビニ交付ができない理由は。

**黒石町環境課長** コンビニ交付は導入に係る経費やランニングコストなど費用対効果の検討もあつて、導入が遅れている。

### その他の質問

#### ▼ 県一消防

窪田和教



**ON LINE**  
窪田議員の録画映像は  
◀◀◀ こちらから

**黒石町民環境課長** 大変複雑な制度で全ての情報を

**問** マイナ保険証で、医療機関は10種類の保険証の対応が必要になる。保険証1枚でこと足りたのが複雑になり、町民が理解できない場面が予想されているか。情報提供はどうなっているか。



医療機関に設置されたマイナ保険証の読み取り機

**問** 12月2日から国保の短期保険証の発行が停止される特別療養費の10割負担になる。国保税滞納世帯への対応や納付相談はどうなっているか。

## 資格確認書の送付は

## 保険が切れないように送る

網羅できていない。難しいのが現実だが今後とも町広報などで行っていく。



マイナ保険証取得を呼び掛ける厚労省のビラが医療機関の窓口には置かれている

**市川税務課長** 国保税を納めていない事情を伺ったの対応になり、機械的に10割負担になることは現在考えていない。

**問** 資格証明世帯の子どもの医療費無料化は継続されるか。

**黒石町民環境課長** 従前の短期保険証に代わる資格確認書が交付されるので変わらず医療費を受けることができる。

**問** マイナ保険証を持っていない人に対して資格確認書の送付は確実に行われるか。

**黒石町民環境課長** 医療保険が切れることがないように1ヵ月前ぐらいに送る。

## 会計年度任用職員制度の総務省通知受けとめは

## 3年にこだわらず再採用する

**問** 総務省は、会計年度任用職員の公募によらない再度の任用を連続2回とする規定を削除する通知を行った。有為な人材の流出の弊害を認められたもの

だ。本町では3年の雇止めはなかったが、通知を受けての考えは。

**平田総務課長** 人事評価を踏まえて判断するとの通

知だ。再採用の上限3年にこだわらず採用していく。

## シーズンスポーツ 大野見小の照明は

**問** シーズンスポーツクラブは校庭でやるので、冬は夕方6時には真っ暗になる。大野見小は隣の中学校の照明を付けてやっているが、校庭を照らすには不十分だ。小学校側には足元を照らすものがあれば安心して運動ができるか。



冬でも思いっきり運動できる校庭の明るさが必要です (大野見小学校)

**岡村教育長** 先週試行的に照明を付けたがずいぶん明るくできた。グラウンドを安全に使えるよう配慮していく。

岡伊三男



岡議員の録画映像は  
こちらから▶▶▶



岡 小規模校の上ノ加江や大野見小学校の運動場の管理は先生だけでは難しい。教育委員会が対応すべきでは。

# 小規模校の運動場の管理は

## 業者委託での管理が必要



雑草の処理など整備がされていない運動場（上ノ加江小学校）

**多田教育次長** 当初予算編成に向け、各学校でヒアリングを実施しており、運動場を含む環境整備について、予算の増額なども要望していく。

**岡村教育長** 施設などの管理は早い段階で委託し、業者による管理をしていく必要がある。今後財政担当と相談して進めていく。

**岡上ノ加江小学校**は生徒の減少で維持ができない状況であり、休校になる可能性があるが考えは。

**岡村教育長** 現在、上ノ加江小学校の保護者と協議をしている。令和7年度、8年度は通常で運用していく。その後は、新入生の入学状況により、毎年保護者と話し合いながら進めていく。

# 矢井賀地区の南海トラフ地震対策は

## 県に適切な維持管理を要望

**岡南海トラフ地震**が発生した場合、矢井賀地区では、県道25号から防災資機材倉庫に避難する道路に、地震で落石や山崩れの危険性がある場所があるが、対応は。

**平田総務課長** 矢井賀の自主防災組織と危機管理室で協議をしながら検討する。



落石や崩落の危険性がある県道25号。この先（写真左側）には矢井賀資機材倉庫がある（矢井賀地区）



休耕地や耕作放棄地に繁茂するセイタカアワダチソウ

## セイタカアワダチソウ対策は

**岡上ノ加江や小矢井賀、押岡地域**では、耕作放棄地などが多く、セイタカアワダチソウが群生している。他の地域に拡大する恐れがあるが対策は。

**福原農林水産課長補佐** 町が駆除をすることはできない。農地の所有者が対策を講じることが前提であり、田役などによる地域での駆除活動を行っていただく以外にない。

佐竹敏彦



佐竹議員の録画映像は  
◀◀◀ こちらから

閩県の人口減少対策交付金は、若者の定着や婚姻、出生率の増加を柱に、市町村と連携して成果を上げるべく創設された制度だが、町の取り組みは。

今橋まひろ町長 シン

鯉乃國プロジェクト、遠距離通勤支援及び移住情報発信強化、民間住宅整備支援と奨学金返還支援事業を県と協議中で、一

# 高知県人口減少対策総合交付金の町の取り組みは

## 各事業を県と協議中だ

定の方向性が得られる予定だ。



次世代の子どもたちが町の未来をつくる（1月2日、上ノ加江体育はじめ）

## 大谷選手を載せた教科書の扱いは

### 令和2年度から4年間使っていた

閩米メジャーリーグで MVP 獲得やホームランと盗塁 50 - 50 など大記録を達成した大谷翔平選手が高校時代に目標達成シートを作っていたという道徳教科書が出版されている。すばらしい教科書だ

が、町では採用していたか。

岡村教育長 令和2年度から4年間使っていたが、令和6年度からは使っていない。

閩米国では大谷選手邸の報道で大変な事態となっている。名誉棄損や人権侵害とされている。国際標準の人権問題だが、町でも人権教育の事例とすべきでは。町の補助金が入っている以上、公の視点での対応が必要だ。



大谷選手からプレゼントされたサイン入りグローブを手にする子どもたち（上ノ加江小学校）

岡村教育長 人権のまちづくりの計画の課題に沿った内容で、町人教が運営されているかどうかのチェックができる。積極的に関わっていきたい。

### その他の質問

- ▼ 防災対策監の配置
- ▼ 事前復興計画
- ▼ 久礼八幡宮御神穀祭
- ▼ 上ノ加江小学校の将来像

# 委員会活動報告

12月定例会の初日、総務教育、産業建設民生の各常任委員長、少子化対策特別委員長から、委員会の活動報告がありました。

## 総務教育常任委員会

旧高知精工、旧消防跡地、旧萩原最終処分場などの町有財産を調査し、総務課、町民環境課から説明を受けた。

大野見の旧高知精工には町有地が三筆ある。使用可能な建物と古い建物があり、建物を残して利用するかとの質問があったが、現時点では町の所有ではないので、賃貸、売買などはできないとのことだ。

## 町有財産の有効活用を



旧消防跡地を調査する総務教育常任委員(11月8日)

久礼の旧消防跡地は分筆登記が完了し防火水槽部は町が管理する。敷地は鑑定評価を行い、配管移設工事完了後に公募で売却する予定だ。

旧萩原最終処分場は、令和5年から廃止のため有害物質などのモニタリング調査を継続中で令和7年10月に調査終了予定だ。調査では特に異常はないが、継続的な報告を求めた。貸付土地を購入希望者には売りたいと総務課から前向きな回答があった。多くの町有財産があるが有効な活用をしてもらうよう要望した。

## 地元の意向もくみ対策を検討

### 上ノ加江川改修工事

### 調整池・残土処理場予定地を調査

上ノ加江川改修工事では、堤防のかさ上げや河道の拡張、付け替え、調整池の掘削工事などがある。調整池は、集中豪雨で発生した洪水を一時的にためるために整備する。面積1万8000平方メートルで、深さは3メートル程度で、5万立方メートルの水を蓄えることができる。

令和6・7年度に、河道の拡張や付け替え工事の発注を予定している。調整池の維持管理は、地元意向もくみ、雑草で覆われないよう対策を検討していく予定だ。委員会では、全国の先進事例などは検討中だ。

ども調査し、十分な対策を施すよう要請した。残土処分場として計画の中、上ノ加江中学校のグラウンドは、面積5300平方メートルで、3メートルかさ上げし、1万8500立方メートルの残土を搬入することができると。県道脇から幅員4メートルの仮設道路を建設する。盛土された後のグラウンドの活用方法は検討中だ。

## 産業建設民生常任委員会



上ノ加江川改修工事で計画されている調整池の予定地を調査する産業建設民生常任委員(11月1日、上ノ加江山内)

## 二十歳の方にアンケート調査

10月11日、第12回委員会を開催し、他の市町村での少子化対策の取り組み状況を収集した資料を参考に調査した。

11月25日、第13回委員会を開催し、中土佐町で女性が働ける職場をテーマに調査・研究をした。また、1月2日に行われた「二十歳を祝う会」で令和6年と同様に、アンケート調査を行った。



二十歳を祝う会の出席者にアンケート調査へのご協力をいただきました  
(令和7年1月2日、町民交流会館)

## 池田町長の行政報告

# 令和7年度予算編成 人口減少など喫緊の課題に取り組む

### ●令和7年度予算編成方針

第3次中土佐町総合振興計画に掲げる「目指すまちの姿」の実現に向け、少子化や南海トラフ地震対策など喫緊の課題に取り組む。

### ●防災対策・事前復興まちづくり

10月27日、町内一斉避難訓練と防災フェスタを開催した。11月18日から22日にかけて、危機管理室やまちづくり課、建設課など若手職員8人が、東北地方で事前復興まちづくり計画に関する視察研修を行った。

### ●久礼駅の利活用

JR久礼駅に、なかとさ観光協会の事務所を置き、地域情報発信基地として運用していく。

### ●中土佐町ファンイベント

11月19日、関係人口の創出と移住促進の一環として東京で第2回ファンイベントを開催した。こうした取り組みを通じて人口減少の抑制と町の活性化につなげていく。

### ●公金収納のキャッシュレス化

利便性向上のため、住民税や固定資産税など公金収納のキャッシュレス化を推進していく。

### ●ディスカバー優良選定

11月25日に第11回「ディスカバー農山漁村・むらの宝」有識者懇談会が開催され、優良事例全国30地区の中に、大正町市場協同組合の取り組みである「NO KATUO NO LIFEな鯉乃國」が選定された。

### ●災害時のし尿・ごみ処理などの協力協定

土佐市の高知中央西部焼却処理事務組合北原クリーンセンター及び仁淀川下流衛生事務組合衛生センター、四万十町のクリーンセンター銀河、同町の岩井グリーンセンターと災害時等の協力協定を結んだ。



12月定例会で行政報告をする池田町長

# 私は、賛成 反対 しました。

【12月定例会 議案】		結果
議案第56号	津野山養護老人ホーム組合の共同処理する事務の変更及び津野山養護老人ホーム組合規約の変更について	可決
議案第57号	中土佐町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第58号	中土佐町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第59号	中土佐町手数料条例の一部を改正する条例について	可決
議案第60号	財産の取得について（中土佐町立美術館収蔵庫備品）	可決
議案第61号	令和6年度中土佐町一般会計補正予算（第7号）について	可決
議案第62号	令和6年度中土佐町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	可決
議案第63号	令和6年度中土佐町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	可決
議案第64号	令和6年度中土佐町簡易水道事業会計補正予算（第4号）について	可決
議案第65号	令和6年度中土佐町農業集落排水事業会計補正予算（第2号）について	可決
同意第7号	教育委員会の委員の任命について（下村麻衣子氏）	同意
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（清岡摩純氏）	適任

【12月定例会（第1回臨時会議） 議案】		結果
議案第1号	中土佐町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	可決
議案第2号	令和6年度中土佐町一般会計補正予算（第8号）について	可決
議案第3号	令和6年度中土佐町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	可決
議案第4号	令和6年度中土佐町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	可決
議案第5号	令和6年度中土佐町簡易水道事業会計補正予算（第5号）について	可決
議案第6号	令和6年度上ノ加江地区ヘリポート整備工事請負契約の締結について	可決

- 22日 こうち人づくり広域連合議会定例会(高知市／自治会館)  
高知県後期高齢者医療広域連合定例会(高知市／自治会館)  
29日 神奈川県町村議会議長会視察対応



大野見しんまいフェスタであいさつする中城議長(10月20日)

## ●11月

- 1日 高知県戦没者追悼式（高知市／高知県立県民文化ホール）  
4日 久礼中学校体育祭  
12日 県選出国議員との意見交換会（東京都／ホテルルポール麹町）  
13日 町村議会議長全国大会（東京都／NHKホール）  
14日 高幡町村議会議長会県外研修（東京都／そなエリア東京）  
29日 こうち人づくり広域連合監査（高知市／自治会館）  
後期高齢者医療広域連合監査(高知市／高知県保健衛生総合庁舎)



神奈川県町村議会議長会視察受け入れであいさつする中城議長(10月29日)

## ●12月

- 3日 高知県町村議会議長会理事会・役員忘年会  
11日 嶋岡敏雄氏叙勲受章祝賀会  
24日 津野山養護老人ホーム組合議会定例会(須崎市／総合保健福祉センター)  
高陵特別養護老人ホーム組合議会定例会(須崎市／総合保健福祉センター)  
高幡東部清掃組合議会臨時会（須崎市／総合保健福祉センター）  
高幡消防組合議会第163回定例会（須崎市／総合保健福祉センター）



二十歳を祝う会で祝辞を述べる中城議長(1月2日)

## ●1月

- 1日 歳旦祭  
2日 二十歳を祝う会  
12日 消防出初式

# Q 議員は何をしゆうが？

# A 私たちは、こんなことをしています。

## 《各員の出欠状況（令和6年10月11日～令和7年1月）》

日付・会議等		議員名											
		窪田和教	岡伊三男	下元良之	福永守恭	金子裕之	濱田和昭	下元道夫	山本建生	中野大地	佐竹敏彦	高橋雄造	中城重則
10月11日	少子化対策特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月21日	議会広報広聴常任委員会	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
10月25日	トップセミナー（高知市／高知県立県民文化ホール）	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月31日	四国地区町村議会議長会研修会（香川県／サンポートホール高松）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月1日	産業建設民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月8日	総務教育常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月15日	議員行政実務研修（高知市／自治会館）	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
11月25日	少子化対策特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月9日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月11日	12月定例会通常会議（1日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月16日	12月定例会通常会議（2日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報広聴常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月17日	12月定例会通常会議（3日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務教育常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月19日	12月定例会通常会議（4日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業建設民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月8日	議会広報広聴常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月22日	少子化対策特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月24日	議会広報広聴常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月29日	総務教育常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月30日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12月定例会第1回臨時会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月31日	産業建設民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○・・・出席 ●・・・欠席 △・・・一部欠席 /・・・所属委員等でない

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみを掲載しています。

## 《議長の主な活動状況(令和6年10月11日～令和7年1月)》

### ●10月

- 6日 越知町コスモスまつり（越知町／宮の前公園）  
須崎市制施行70周年記念式典（須崎市／須崎市立市民文化会館）
- 8日 高知県後期高齢者医療広域連合との打ち合わせ
- 11日 第36回香川高知県人会総会（香川県／高松市）
- 12日 上ノ加江小学校運動会  
久礼小学校運動会
- 16日 中土佐町戦没者追悼式
- 17日 第15回笹場・上ノ加江・矢井賀地区敬老会
- 20日 第19回大野見しんまいフェスタ



中土佐町戦没者追悼式で追悼の言葉を述べる中城議長(10月16日)



笹場・上ノ加江・矢井賀地区敬老会に出席(10月17日)

(今号の表紙)



今年度の「議会だより」の表紙写真のテーマは「町でがんばる人たち」です。

上ノ加江地区で沖縄正統空手道修道館黒潮会代表の戸田伸洋さんにお話を伺いました。

**1 空手歴を教えてください。**

**A** 矢井賀の山下裕志先生が沖縄で空手を学び修道館を開きました。その道場で小学校時に学びました。その後、空手から離れていましたが、20代から本格的に始め、空手歴は29年ぐらいで現在二段です。



**2 空手道場を始めたきっかけは。**

**A** 15年前、当時の中学生の保護者が、保育所の保護者に声をかけていただき、生徒6人で始めました。

**3 自分の仕事と指導の両立は難しいのでは。**

**A** 空手は好きなので、苦に思うことはないです。仕事の残業などで遅れる時は、他の指導者に頼んでいます。家族や職場、周りの人の協力がなければ両立できません。

**4 子どもたちにどのような指導を心がけていますか。**

**A** 楽しく指導はしていますが、武道なので、礼に始まり礼に終わるが基本になります。特に子どもたちが空手を学ぶことで精神的に成長できるように指導しています。

**5 今後の道場の活動は。**

**A** 現在、週3回、指導者を含め15人が上ノ加江小学校で練習をしています。これからも子どもたちと一緒に、楽しく道場を続けていきたいです。



上の写真は新年体育はじめて、その他は練習風景

## つぶやき

近年の各種産業構造の変化や極端な少子化、過疎高齢化に伴う地域コミュニティの弱体化など、本町を取り巻く環境はかつてないほど厳しくなっている。

世界では、国際的な紛争が起こっており、国内では地震や異常気象に伴う豪雨などの自然災害が発生し、その対応に追われている。また、以前では考えられなかったさまざまな事件が起きている。ライフスタイルの変化により人間関係が希薄になった一面もありはしないか。

昔のようにお隣さん同士、みそやしょうゆなどを譲り合う時代が懐かしいが、時代を巻き戻すとお叱りを受けるだろうが、いずれにしても、常に自己改革をしていかなければと、思う今日である。

中城 重則



### 中土佐町議会広報広聴常任委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 窪田 和教 |
| 副委員長 | 山本 建生 |
| 委員   | 下元 良之 |
| 委員   | 金子 裕之 |
| 委員   | 濱田 和昭 |
| 委員   | 中野 大地 |